

# 至徳

射水市立金山小学校  
学校だより

令和3年3月17日

No. 38



## ---賛助会のおかげで---

金山小学校PTA会計には「賛助会費」という収入項目があります。金山地域の子もたちがよりよい環境で教育活動を受けられるようにとの応援の心がこもった貴重なお志(700円)を毎年校区の皆さまよりお預かりさせていただいています。

特に今年度は320世帯もの方々よりご協力をいただいたきました。重ねてお礼を申し上げます。ありがとうございます。

本校では、お預かりさせていただいた賛助会費はPTA一般会計に繰り入れ、広報「さわらび」発行や今年度は主に図書室の充実のための本の購入に利用させていただきました。その他にも、除草剤の購入、各教室の鉛筆削り、強力磁石の設置等、子供たちの教育環境の整備に充てさせていただいており、大変助かっています。

毎年、4月にPTA地区役員さんが各ご家庭を訪問し、賛助会費のお世話をさせていただいております。そのご労苦につきましても心よりお礼を申し上げます。

子供たちたちがより一層安全に、楽しんで学校生活を送れるように努めてまいりますので、今後ともご支援をよろしくお願いいたします。

### ○ 金山っ子発表会【3月10日(木)】

金山っ子発表会も今年は、全校を Teams でつなぎリモートで行いました。子供たちは、今までリモートを色々な場面で行ってきました。自分が発表するときにはマイクをオンにする、相手に分かるように話す場所や声の大きさを考える、投げかけられた言葉に動作で示すなど、リモートを上手に使いこなすことができている子供たちの成長ぶりを見て本当に嬉しくなりました。



この金山っ子発表会は、子供たちの表現する力を高めたいという願いで行っています。いつもは、発表する内容をあらかじめ準備し、みんなに伝えていました。しかし、今回は準備物なしです。発表会の内容は、今年度の学校生活を振り返り、「考えたこと(感じたこと)とその理由」を伝えることです。同じ内容について一緒に考え、全校の前で自分の意見を言うことで自分自身に対する自信を高めることも願っていました。発表の内容を聞くとコロナウイルスの感染拡大がやはりどの子供にとっても心に残る出来事だったようです。そのこと



を「勉強があまり進まなかったから大変」と考える子供、「今までのことのない行事ができたからよかった」と捉える子供等様々でそんな考えがあるんだと新たな発見をしたり、自分と同じ気持ちだなあと安心感をもったり、似ているけど違うなど気付いたりすることのできる時間になりました。また、手を上げている様子、発表の仕方、聞き方も画面を通してみることができそれぞれの学年が刺激を受け合いました。新しい授業の形が広がったように思います。

## ---地域の皆様のおかげで---

### ※ 「ジュニア活動賞」

### ※ 「清流環境奨励賞」 受賞

本校では、今年は鳥インフルエンザのため行えませんでした。1、2年生が、毎年生活科の学習の一環として、ハクチョウが飛来することで知られる校区内の野手地区にある石畑池で冬鳥の生息調査をしています。

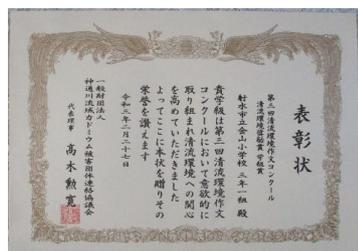
3年生は、自治会の協力のもと、山下ちか子さんとホタルの生態や餌となるカワニナ、ホタルの棲める環境等について学ぶと共に、ホタルの幼虫を、飼育・観察・放流をしています。また、金山を南北に流れる前川用水に棲んでいる生き物についても調べ、生き物が生息しやすい環境づくりへの意識を高めています。

4年生は、総合的な学習の時間に、野手宗秋さんのもと金山地区では生活になくはならないため池の学習に取り組んでいます。御後庄司さんをはじめ青井谷地域の方の協力のもと、ため池の水を抜いた後にも見学し、生き物の観察も行っています。そして、農業用水の確保はもとより、洪水の調整機能を果たしたり多くの生き物の住処となり豊かな自然を育てていたりすること等を学んでいます。ため池の役割を持続するため地域の方々により、水を抜くなどの管理を欠かさないことについても学び、地域の方々に感謝すると共に環境を守っていく大切さについても目を向けています。

5、6年生は、荒れた里山の再生に取り組んでいる前川修さん、宮林範行さんをはじめ金山里山の会の方を講師に迎え、樹木を伐採し燃料や茸原木として利用することにより豊かな川・海を含めた水循環の里山を目指していることなどの話を聞いたり、実際に伐採樹木での椎茸の菌打ちを行ったりしています。その中で、里山を自然の宝庫として存続させていく大切さについて学んでいます。

そこでこれらの活動をもとに富山・水・文化の財団が募集している「とやま環境賞」に応募したところ「ジュニア活動賞」を受賞することができました。授賞式には代表として企画委員長の高木勲さんに参加してもらいました。賞状の他、富山ガラス工場の作家さんが作ったスノードームのトロフィーと副賞もいただきました。副賞は子供たちの環境教育の充実のために使わせていただこうと思っています。

また、3年生は、ホタルの学習を通して自分が学んだこと、この学習で感じたことを作文まとめて第3回清流環境作文コンクールに応募したところ「清流環境奨励賞 学級賞」を受賞しました。



これらの賞を受賞できたのは、地域の方々子供たちの学習を支えて金山でしか行うことができないとても大切で貴重な学びを行うことができています。本当に有り難いです。

子供たちは、これらの学びを通して、自然いっぱいのふるさと金山が大好きです。いつまでも大切にしたいという気持ちと共に、自分ができることをしようとする気持ちをさらに高めてくれることを願っています。

